

ひろしま型スマート農業普及支援事業の概要

農林水産局農業技術課 スマート農業推進担当

ひろしま型スマート農業普及支援事業（R8～）

スマート農業機器等の導入強化

<取組の概要>

- R7年度までに構築した経営モデルを含めたスマート技術の普及をより一層加速させるため、兼業農家も含めた産地全体を対象として取り組む。
- これまでの経営モデルを踏まえ、産地の実情に応じて機械・システムの導入や農業支援サービスの仕組みを取り入れた産地単位の導入計画を策定し、産地全体の生産性向上に向けた取組を支援（実証補助）する。
- 技術実証地区数：10地区/年
- 事業費：上限4,000千円/地区



【取組のイメージ】

これまで

- ・めざす姿：スマート農業技術等の改良と体系化による「品目ごとの生産性向上経営モデルの作成」
- ・取組内容：県に適合する技術の改良を核とした、経営体の生産性を向上する実証試験
- ・実証主体：コンソーシアム（企業等、農業者、市町、県（研究含む）、JA等）

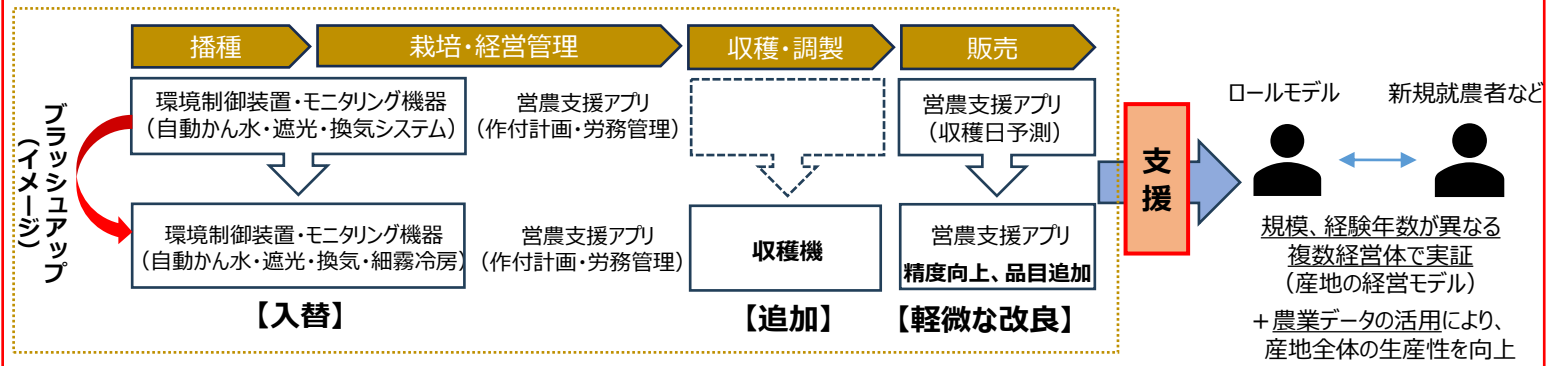
<取組例（軟弱野菜）>



これから

- ・めざす姿：スマート農業技術等を導入した、「産地ごとの生産性を向上する経営の実装」
- ・実証主体：農業者等
- ・支援グループ：市町、県（研究含む）、JA、企業等

<取組例（軟弱野菜）>



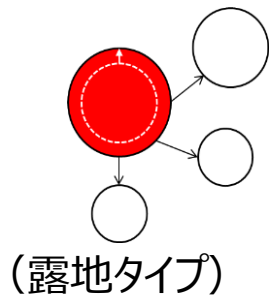
【事業目的や要件など】

目的	スマート農業技術の普及に取り組む産地等に対して、 機械・システムの導入や農業支援サービス事業体の育成を支援する。
事業実施主体	農業者（生産部会又は複数経営体） 【支援グループ（下線は必須とする機関）】 市町、農業協同組合、 <u>県農業技術指導所、県農林水産事務所（畜産事務所）</u> 、県研究機関、 大学、企業 等
実証期間	原則、当該年度の2月末まで
主な要件	<ul style="list-style-type: none"> ・実証後、産地等での導入計画を作成すること。 ・産地等における労働生産性（生産量又は販売額又は栽培面積／労働時間）を10%向上させる目標であること。 ・産地等における普及性（普及見込面積、生産額増加見込額、導入見込経営体数）が一定程度確保できる取組であること。 ・産地等において、技術導入と併せて農業データの活用に取り組むこと。
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・産地への導入に向けた実証に必要な機械・機器及びアプリの利用（定額、ただし機械・機器の購入については1/2） ・農業支援サービス事業体の育成（定額）
補助上限	4,000千円/地区
採択方法	ポイント制 とし、ポイントの高い計画から順に採択する。

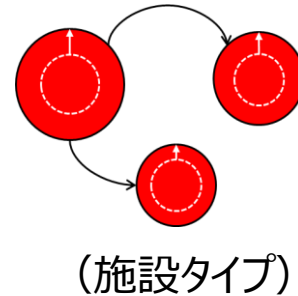
【活用イメージ（例）】

課題	実証内容	取組の成果	補助対象経費
水稲	ドローンによる適期防除・分施＋地域の農業支援サービスの体制づくり	労力省力化 収量向上 等	・機械導入費（1/2以内）、リース（定額） ・ドローンのオペレーターへの委託費（定額）、育成に係る研修費用（定額） など
施設園芸	暑熱対策及び環境制御による産地全体の生産力強化		・環境制御機器や細霧冷房など（リース（定額）、購入（1/2以内）） ・データ共有のための既存システムやアプリの利用料（定額） ・ドローンによる塗布剤散布委託費（定額） など
露地園芸	自動操舵トラクタや自動収穫機、自動防除機、自動草刈機等作業の機械化による省力化		・機器導入費（1/2以内）、リースやレンタル料（定額） ・システム利用料（定額）
果樹	ドローン防除や自動追従運搬車、自動草刈機等作業の機械化＋開花日予測（なし・りんご）の活用による生産力強化		・機器導入費（1/2以内）、リースやレンタル料（定額） ・システム利用料（定額）

【事業実施主体のイメージ】



核となる担い手が規模拡大し、担い手以外の作業を請け負うことで地域全体の労働生産性を向上
※赤色は担い手、白色はその他の経営体



地域の担い手が規模拡大するとともに、ロールモデル経営体のデータを共有し、模倣して労働生産性を向上

【ポイント項目】

1 実証内容

(1) 革新性 (必須)

労働生産性（生産量又は販売額又は栽培面積／労働時間）の向上率

(2) 普及性 (いずれか1つを選択)

普及見込面積割合の増加幅 又は 販売額増加見込額の増加率

2 政策的要素 (加点要素)

(1) 地域計画への位置づけ

(2) 生産方式革新実施計画への認定又は着手

(3) 特定環境負荷低減事業活動実施計画（みどり認定）への認定又は着手

(4) 農業版事業継続計画（BCP）の策定又は着手

【実施体制】

<実証グループ>

<事業実施主体>

	代表	副代表	監事	会計 (通帳管理)	運営	実証	具体的な内容
生産部会	●	●	●	●	(●)	(●)	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実施に関すること（機械操作、フィールド提供、作業記録等） ・導入計画作成
農業者グループ	●	●	●	●	(●)	(●)	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実施に関すること（機械操作、フィールド提供、作業記録等） ・導入計画作成

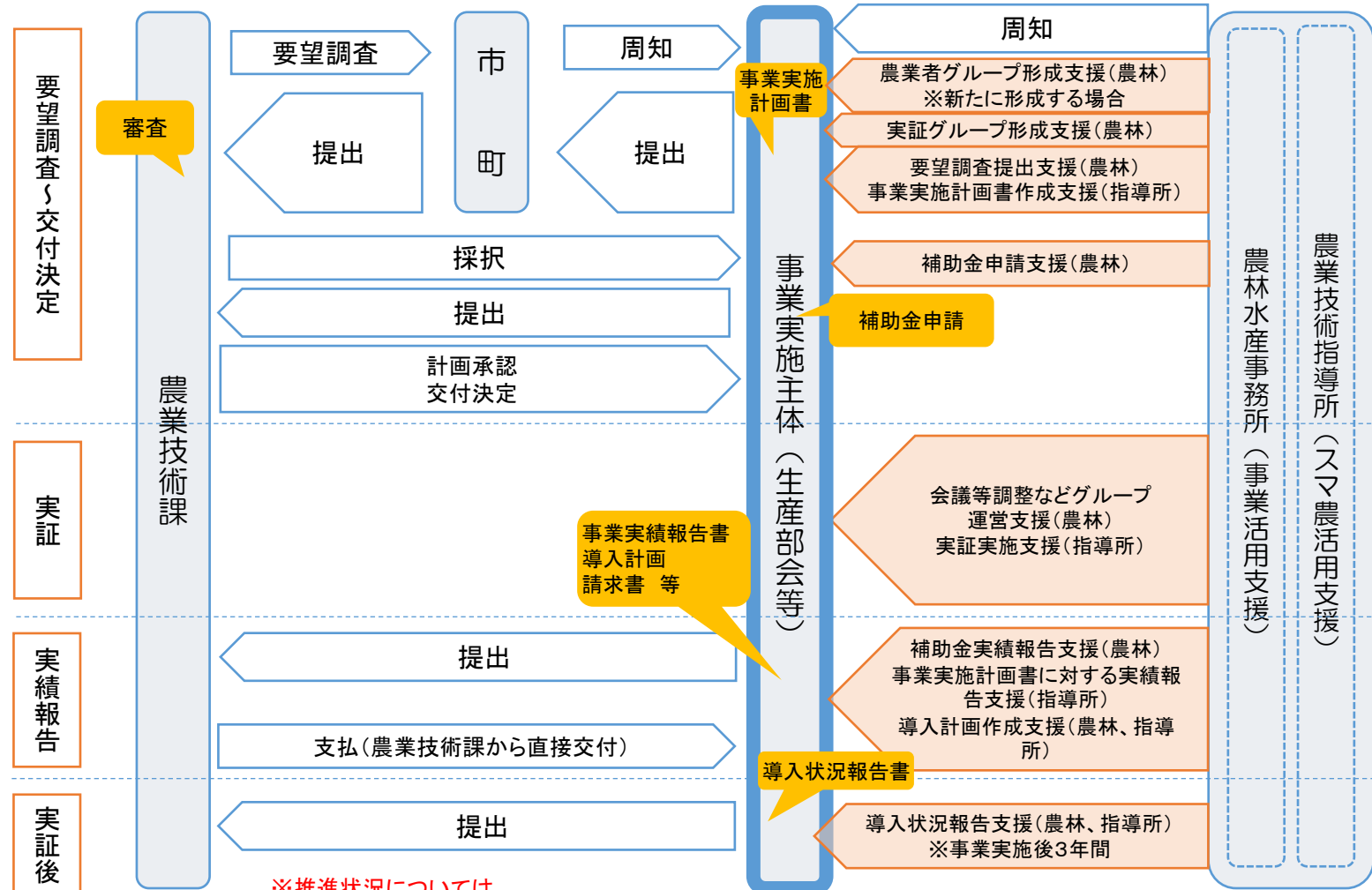
<支援グループ> ※★は必須メンバー

農林★	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施計画等申請支援、実績報告書等作成支援 ・導入計画作成支援、他会議等調整 など
指導所★	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施計画書等作成、実証結果取りまとめ支援 ・実証実施、導入計画作成支援 など
研究	実証に関する助言 など
市町	導入計画作成協力 など
J A	実証実施協力（事業実施計画・実績含む）、導入計画作成協力 など ※生産部会が構成員となる場合は事務局を分担
企業等	実証協力、軽微な機械の改良 など

ひろしま型スマート農業普及支援事業の流れ

スマート農業機器等の導入強化

【事業の流れ】



※推進状況については、
随時、市町、農林、指導所へ共有する。